

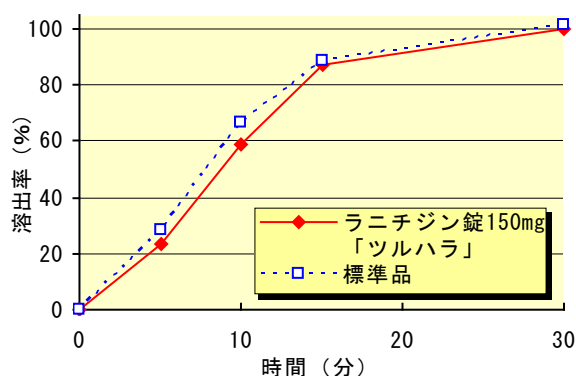
製品別比較表

2020年4月改訂

製品名	ラニチジン錠150mg「ツルハラ」	標準品
販売会社名	鶴原製薬株式会社	
薬価	5.9円/錠	14.1円/錠
薬効分類名	消化性潰瘍用剤/232	
組成	1錠中ラニチジン塩酸塩168mg(ラニチジンとして150mg)含有	
性状	白色～微黄白色のフィルムコーティング錠 別記号：150 直径：約8.7mm 厚さ：約4.2mm 質量：約235mg	白色のフィルムコーティング錠 直径：約8.6mm 厚さ：約4.2mm 質量：約250mg
添加物	結晶セルロース、トウモロコシデンプン、カルメロースカルシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、軽質無水ケイ酸、ヒプロメロース、マクロゴール6000、酸化チタン、タルク、カルナウバロウ	結晶セルロース、クロスカルメロースナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、トリアセチン、酸化チタン
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison症候群、逆流性食道炎、上部消化管出血(消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、急性胃粘膜病変による) 下記疾患の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善 急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期 麻酔前投薬 	
用法・用量	<p>胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison症候群、逆流性食道炎、上部消化管出血(消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、急性胃粘膜病変による)</p> <p>通常、成人には、ラニチジン塩酸塩をラニチジンとして1回150mgを1日2回(朝食後、就寝前)経口投与する。また、1回300mgを1日1回(就寝前)経口投与することもできる。なお、症状により適宜増減する。</p> <p>上部消化管出血に対しては、通常注射剤で治療を開始し、内服可能となった後、経口投与に切りかえる。</p> <p>下記疾患の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善</p> <p>急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期</p> <p>通常、成人には、ラニチジン塩酸塩をラニチジンとして1回75mgを1日2回(朝食後、就寝前)経口投与する。また、1回150mgを1日1回(就寝前)経口投与することもできる。なお、症状により適宜増減する。</p> <p>麻酔前投薬</p> <p>通常、成人には、ラニチジン塩酸塩をラニチジンとして1回150mgを手術前日就寝前および手術当日麻酔導入2時間前の2回経口投与する。</p>	

標準製剤との同等性

試験液：水、回転率：50回転、第2法
規定時間：30分、溶出率：80%以上
(オレンジブック No.6 掲載)
両製剤の溶出挙動は同等であった。



健康成人男子12名に各1錠ずつ(ラニチジン塩酸塩として150mg)をクロスオーバー法によって空腹時経口投与した。両製剤の血中濃度の推移は同等であった。(mean±S.E.、n=12)

